

## 国への要請

- すべてのデータを取り、公表してください。
- 1. まず国が唯一調査している福島県の小児甲状腺がん患者193人（18年3月時点）は、3.11福島原発事故の放射能汚染の影響であると認めてください。そして、放射能による内部被ばくはあるゆる病気を引き起こすという前提に立って、以下のことを行ってください。  
1-2. 放射能を理由に避難した人はすべて避難者です。その人数を調べて公表してください。
- 1-3. 東日本の放射能の空間線量と土壤汚染をすべて詳細に調べて公表してください。
- 1-4. 国や福島県立医大に集まっている、患者のデータをもとに、3.11福島原発事故の前と後で各種の病気の患者の人数がどれだけ増加しているか正確に公表してください。
2. すべての放射能汚染被害者を救済してください。
- 2-1. 避難指示の解除をはじめとする帰還促進政策の見直しを行うことを求めます。
- 2-2. 放射能汚染地域における被ばくを防ぐ対策の拡充および医療・健康対策の確立などの長期的な被害救済策を求める。
- 2-3. 避難者と避難希望者を支援してください。具体的には以下の通りです。
  - ・まず全ての避難者に安定した住宅と正規雇用職を用意してください。
  - ・子どもの教育と高齢者の介護を支援し続けてください。
  - ・医療費を国が負担してください。
  - ・新規避難者、避難希望者にもそれらを提供してください。
  - ・移住交通費も負担してください。特に発病した人から重点的に移住支援してください。
  - ・避難元と避難先の役所に、相談・支援ステーションを設け、広報してください。

## 避難移住支援カンパをお願いします

東日本からの避難移住を希望する子ども・親・単身者など様々な方に、下見の交通費や生活費の一部を提供します。また避難者が集まる集会などの活動・広報費などにも使います。詳しい使途は年次総会にて公表します。

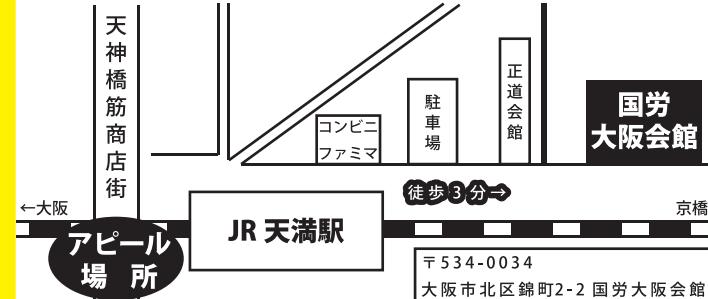
ゆうちょ銀行 00990-8-211068 「ゴーウエスト」  
他の銀行から 店番号 099 当座預金 0211068

すべて皆さまのカンパによって運営しています。経済的理由により避難できない例が多くあります。ぜひみなさまのカンパをお願い致します。

避難移住の支援をお手伝いくださるスタッフも募集しています。

## 今後の予定（毎月第2・第4土曜日）

- 4月14日(土)12時半～／13時半～17時  
天満駅前街宣 & 学習会 & 会議  
@国労会館3階中会議室
- 4月28日(土)12時半～  
会議 @国労会館2階第2会議室
- 5月12日(土)12時半～／13時半～17時  
天満駅前街宣 & 学習会 & 会議  
@国労会館1階多目的ホール
- 5月26日(土)12時半～  
会議 @国労会館2階第2会議室
- 6月2日(土)13時半～  
全員集合大集会 & デモ（詳細は表紙）



福島原発事故由来の放射能による土壤汚染は、東北だけでなく、関東や東海、北陸地方にまでおよんでいます。求められているのは帰還政策でも風評の払拭ではなく、事実を知り、多くの人に広め、被曝を避けることです。

〒567-0815 大阪府茨木市竹橋町2-2-205「ゴーウエスト」宛  
Mobile 090-4003-1386（避難・移住の相談も受け付けます）  
Twitter @Gowest311  
Facebook <https://www.facebook.com/gowestcomewest/>  
<http://www.gowest-comewest.net> 検索 ゴーウエスト 避難  
E-mail gowest.comewest@gmail.com



避放3  
難射11  
者能東  
と汚北  
仲間か・  
間たら・  
たちの東  
Go  
West,  
Come  
West!!!



## 原発避難者と仲間たち全員集合！ 大集会 & デモ第二弾

6月2日(土)13時半～  
大阪市中央会館1Fホール

(地下鉄「長堀橋」駅6番出口から徒歩5分 大阪市中央区島之内2-12-31)

私たちは次のこと取り組んでいます。皆様の協力をお願いします！

- 東北・関東からの避難者がつながって、助け合うこと。
- 「東北・関東は広く放射能汚染地帯であり、避難が必要になってくる」と現地や避難先へ広めること。
- 新たな避難希望者とつながり、地域・仕事・住宅を紹介していくこと。
- その全ての費用を日本政府・東京電力・国際原子力勢力に補償させ、事故の責任を取らせ、全ての核・原発を廃止せること。



## Q 福島原発事故は続いているの？

「史上最悪の事故」が続いている。爆発して屋根が吹き飛び底が抜け、原発の上からも下からも放射能が出続けています。空気、水、地面、海、食物など生きる基本となる全てが汚染されています。福島を含む東北や関東は、広い範囲が「放射能管理区域」で、人が住んだら危険、つまり避難が必要な状態です。しかし政府やマスコミは、それを認めたなら原発を進めてきた責任が問われるため、隠しています。だからまるで過去の事になっていますが、今こそ私たちは事実を知る必要があります。

## Q 放射線管理区域とは？

原子炉施設や放射線医療施設などで3カ月に1・3ミリシーベルト(年間5ミリ相当)を超える恐れのある区域。立ち入りなどが制限される。4万ベクレル/m<sup>2</sup>以上に汚染された場所。

## Q 関西への避難者数は？

2018年2月13日現在、滋賀県181人、和歌山県76人、京都府454人、兵庫県779人、大阪府744人、奈良県97人。これらは、復興庁が発表している数値で、各都道府県から報告されたものを転記しており、昨年、大阪府においては、カウント漏れが発覚し、88人から793人に訂正しています。また避難区域外の避難者は一切お金も支援も受けられていません。

## Q 健康被害はあるの？

2017年12月25日に公表された福島県民調査報告書によると、福島県の小児甲状腺がんおよび疑いの子ども達は193人も出ています。また、ガンや白血病ばかりではなく、内部被ばくの本当の怖さは、「細胞全体の壊死が起こること」。血管、心臓の筋肉などの壊死は突然死につながり、事実、福島原発事故後、心筋梗塞、心不全、脳卒中の著しい増加報告が出ています。私たち自身や周りの友人親族でも急激に増えています。

## Q 福島は復興に向かっているし、関東は東京五輪を開催するし、事故は収束したんでしょ？

収束していないからこそ、国は「復興」と「五輪」でごまかそうとしています。本当に復興できるのか、復興とはどんな状態なのか、公の場で一切議論しないからです。結果、福島県の復興予算毎年約1兆円もが、建設業界や除染業者の莫大な利権となっています。またアジア各国で「放射能は安全だから福島に来て」という嘘の大宣伝に使われています。↗

対して国が昨春打ち切った自主避難者への住宅支援は70億円、全体の0.6%に過ぎません。今の復興政策とは、最も悪質な人命見殺しと巨額利権化の政策です。この事故の収束作業は半永久的に続き、もう汚染の無い状態には戻りません。国も私達もそれを認めて、復興政策を、全ての人々に賠償と避難を行なう避難政策へ転換させなければ、手遅れになります。

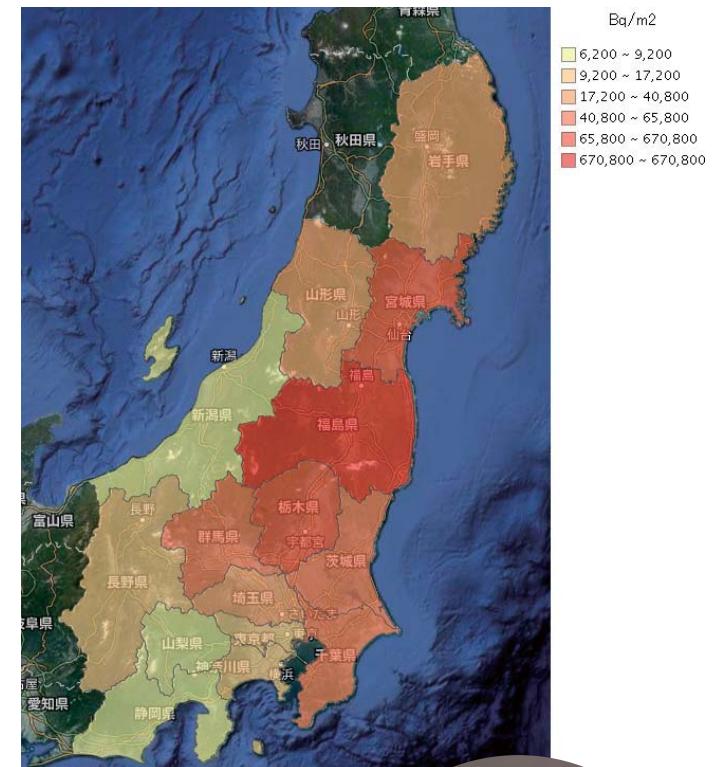
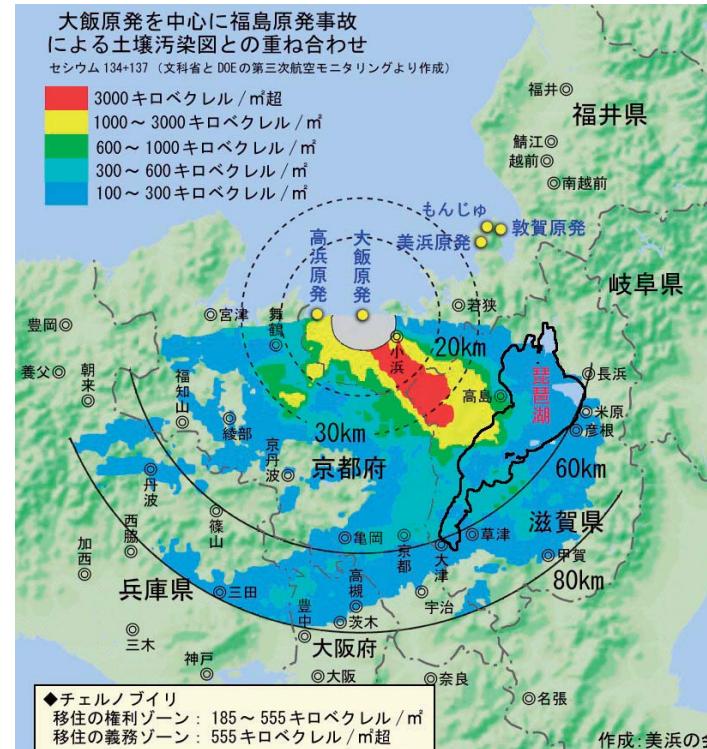
## Q ではどうしたらいいの？

汚染の事実を認め、避難者を増やすことです。裏面の「国への要求」が政府や地方自治体のやるべきことです。皆さんも一緒に声を上げ、今後の行動に参加してください。またこの事実を周りや東日本に住む家族や友人・知人に伝え、避難を受け入れてください。そのために関西など避難先での仕事・住宅・コミュニティと一緒に作り出してください。



### アイリーン・美緒子・スミスさんによる 水俣と福島に共通する10の手口

1. 誰も責任を取らない／縦割り組織を利用する
2. 被害者や世論を混乱させ、「賛否両論」に持ち込む
3. 被害者同士を対立させる
4. データを取らない／証拠を残さない
5. ひたすら時間稼ぎをする
6. 被害を過小評価するような調査をする
7. 被害者を疲弊させ、あきらめさせる
8. 認定制度を作り、被害者数を絞り込む
9. 海外に情報を発信しない
10. 御用学者を呼び、国際会議を開く



食べ物も広く汚染され、西日本にも流通しています。



松平耕一さん  
(大腸ガン／2017年逝去／享年39歳)

「院内がん登録」統計による東京都内17病院の血液がん患者数（単位：人）							
	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	13/10比
悪性リンパ腫	*1,456	*1,421	*1,519	*1,605	*1,741	*1,709	22.5%
多発性骨髓腫	*246	256	276	330	316	296	23.4%
白血病	*511	551	557	623	652	581	18.3%
その他の血液がん	*266	*278	357	477	*518	460	86.3%
東京血液がん合計	*2,479	2,506	2,709	3,035	3,227	3,046	28.8%
全国血液がん	31,506	34,684	*37,294	*39,632	41,080	40,628	18.4%

注記：\*が付いているものは実数、それ以外は筆者の補正值である。

出典：国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計研究部 院内がん登録室

「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 全国集計報告書 付表1～6」2009～2014年版より